

安全対策 自己チェックリスト

事業者名：鯨バス株式会社 保有車両数： 88台

<高速ツアーバス等の運行の有無>

1. 高速ツアーバス等を運行している又は運行する見込みがあるか。

既に運行している 今後、運行する見込みがある 運行していない

<自主的な安全対策>

2. 遠隔地における電話点呼

遠隔地における乗務前・後点呼において、自社の運行管理者等が電話点呼を行う際、他社の運行管理者等が運転者に立ち会って点呼を行っている、又はITを活用した点呼を行っているか。

他社の立会点呼を行っている IT点呼を行っている

上記点呼を行っていない

3. デジタル式運行記録計による運行管理

デジタル式運行記録計を設置している車両台数 88台

4. 休憩時間

通常、夜間運行（※）する際の休憩時間及び間隔はどの程度か。

概ね 2 時間毎に平均 15 分以上の休憩を取得

※運行開始時刻（乗車時刻）または終了時刻（下車時刻）が、深夜2時から早朝4時までのいずれかに入るか、または運行時間帯が該当時刻をまたぐ運行

5. 休息期間

通常、夜間運行を行う運転者の直前の休息期間は何時間確保しているか。

概ね平均 10 時間程度の休息期間を確保している。

6. 安全性評価認定

公益社団法人日本バス協会が行う安全性評価認定を受けているか。

受けている 受けていない

7. 安全運行協議会による調査

自社が参加する安全運行協議会が設置されており、その発意に基づき、運転者の過労防止対策等の安全措置が適切に実行されていることについて、常時又は抜き打ちで調査が行われている。

行っている 行っていない

8. 高速バス運転者の育成プログラム

自社で明文化された高速バス運転者の育成プログラムを策定し、それに従い、体系的に運転者の養成を行っているか。

行っている 行っていない

9. ドライブ・レコーダーによる運転者指導

ドライブ・レコーダーを設置している車両台数 88 台

10. 衝突被害軽減ブレーキの装備

衝突被害軽減ブレーキを設置している車両台数 33 台

11. 車線逸脱警報装置の装備

車線逸脱警報装置を設置している車両台数 5864 台

12. 居眠りを感知できる装置の装備

居眠りを感知できる装置を設置している車両台数 0 台

13. 24 時間運転者サポート

運行管理者が 24 時間にわたって運転者をサポートする体制を敷いているか。

敷いている 敷いていない

上記において、「敷いている」と回答した方について、運行管理者等が 24 時間にわたって運行中は営業所に常駐しているか。

常駐している 常駐していない

14. 自己チェックの結果について自社のホームページ等のウェブサイトに公表しているか

公表している

公表する予定 () 月頃を予定)

公表できない (理由)

<取組み結果>

15. 高速ツアーバス等の運行においては、実車距離にかかわらず交替運転者を配置したか。

配置した 法例で交替運転者が必要な場合のみ配置した

16. 運転者の交代時又はS A等での休憩時において、運転者の健康状態の報告を適切に実施したか。

実施した 一部実施できなかった 実施できなかった

17. 高速バスの表示ガイドラインにのっとり、適切な表示を実施したか

実施した 実施できなかった